

メトロノームウォッチの電池交換について

時計店等で電池交換をされる場合は、必ず下記の順番で初期設定を行ってください。

①交換後にピンセット等でリセット（右図）またはシステムリセット（取扱説明書 P.33 参照）

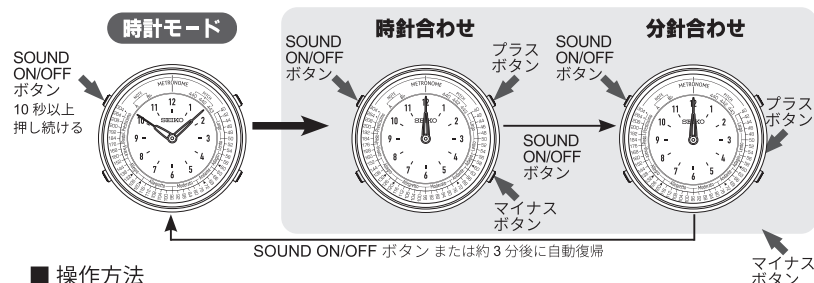
②針位置合わせを行う（左下手順参照）

③時刻を合わせる（右下手順参照）

なお、本製品の電池は『CR2016』です。



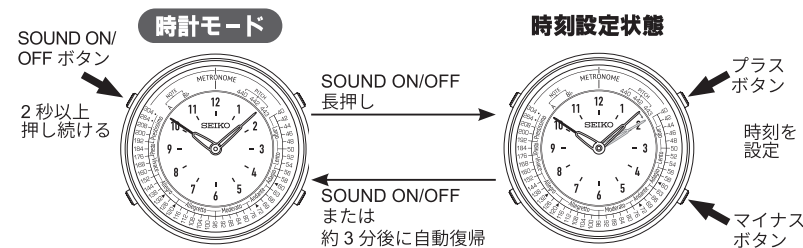
針位置合わせのしかた



■ 操作方法

- 1 時計モードの時に SOUND ON/OFF ボタンを 10 秒以上押し続けると、「針位置合わせ状態」に切り替わり、2 つの針が 12 時位置に移動して停止します。続けて、時針が動き「時針の針位置合わせ状態」となります。
※時計モードから針位置あわせ状態に切り替わる途中で「時刻設定状態（P.11）」となりますが、そのまま SOUND ON/OFF を 10 秒間押し続けてください。
- 2 12 時位置からずれている針があった場合、以下の方法によりその針を 12 時位置に合わせます。
- 3 必要に応じて時針を 12 時位置に合わせます。
プラスボタン、マイナスボタンで時針が設定できます。それぞれのボタンを押し続けると早送りとなります。
- 4 時針の位置合わせが終了しましたら SOUND ON/OFF ボタンを押します。
分針が動き、「分針の針位置合わせ状態」に切り替わったことを示します。
- 5 必要に応じ分針を 12 時位置に合わせます。
時針同様にプラスボタン、マイナスボタンで分針が設定できます。それぞれのボタンを押し続けると早送りとなります。
- 6 針位置合わせが終わりましたら、SOUND ON/OFF ボタンを押してください。
針位置合わせ状態が解除されて通常の時刻表示（時計モード）に戻り、時計が動作を開始します。また、約 3 分操作がなかった場合も針位置合わせ状態が解除され、設定した針位置が登録されます。

時刻の合わせかた



■ 操作方法

- 1 時計モードの時に SOUND ON/OFF ボタンを 2 秒以上押し続けると、分針が現在表示されている「分」の次の「分」の 0 秒位置に移動します。その後、分針が小さく動き、「時刻設定状態」に切り替わったことを示します。
- 2 プラスボタン、マイナスボタンを押して時刻を設定します。プラスボタンを 1 回押すと 1 分時間が進み、マイナスボタンを押すと 1 分時間が戻ります。また、それぞれのボタンを押し続けると早送りとなります。
なお、分針と時針は連動して動きます。
- 3 時刻設定が終わりましたら、SOUND ON/OFF を押してください。「ピピッ」と音が鳴って時刻設定状態が解除され、通常の時刻表示（時計モード）に戻り、「0 秒」から時計が動作を開始します。また、時刻設定状態で約 3 分間操作がなかった場合も設定状態が解除されて時計モードに戻ります。